

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第14号 平成27年7月18日

点の取られ方に残念な内容

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
R	1	0	3	2	1	1	0		8
G	1	0	2	0	0	0	0		3

エラー多発が敗戦に繋がる・・・



非常に天候が気になる中、篠崎公園野球場に出向き、レッドス-09とのSCL4戦目を戦った。初対戦で有るが、目下首位を走るチームだけに、わくわくする気持ちと、どれだけ強いのか？という不安感の中でゲームは幕を開けた。先攻はレッド、マウンドには今期好投をしている祐太朗がマウンドに上がりゲームは始まった。その先頭への内容は何と三球三振。打者の気持ち良いスイングを祐太朗が先ずは力で伏せた。しかし、二番には、二ゴロを打たれ、セカンドが良く止めたが、送球がワンバウンドになり、これを捕球出来ず、走者を出す。続く3番にストレートの四球目つその球が暴投になる間に、打者走者も二塁に進み、一死二・三塁とピンチとなった。4番を遊ゴロに斬り二死としたが、5番の時にまたもや、WPでホームインされ、無安打で1点を与えてしまった。しかしその裏の攻撃、二者が倒れ二死から、三番小池が、右線安で出塁、そして4番の時のWPで二塁に進塁、ここで4番祐太朗が、3球目を振り抜くと、打球は左中間を割るスリーベースで小池を迎え入れ同点適時打を放った。更に逆転のチャンスであったが、後続が倒れ同点止まり。翌2回の攻防は、共に一人ずつの走者を出すも、それ以上の進展なし、しかし、ここで我がチームには嬉しい内容。今期今までノーヒットだった山林に嬉しい今期初安打が飛び出した。苦節17打席目の出来事だった。だが、3回にまたゲームに動きが。この回先頭打者に初球を左越えに2ベースを打たれる。しかし、先頭に帰り1番を投ゴロに打ち取ったかと思った瞬間、何とこのイージー送球をミスしてしまった。この打球で三塁を目指した走者がそのまま、ホームインし、またもや労せず、得点を献上した。更にここから、安打と盗塁、失策で2点を与え、その差は、3点差としてしまった。しかし、ピンチの後には、チャンスが来た。この回先頭の哲也が2ベースで出塁、二番智の犠打で哲也はサードへ進塁、ここで小池が三遊安で哲也を迎え入れる。4番祐太朗の打球は三ゴロで、ベースランナーが入り替わる。ここで最近打撃不振の棚川が打席に、2球目を強烈なファールそして3球目、ふらふらとあがった打球は、レフトファールゾーンへ、これが風で戻され、ぼとりとレフト前に落ちる。二死という事から、取敢えず、ふらふらとペーランをしていた祐太朗が、ギアを入れ、ホームイン、しかし打者走者は二塁に進塁せず、そして打席に深沢が入る。ボール3つを見極めカウント3-0、しかし、残念ながら好球を打ち損じ、1本が出なかった。しかし、得点差は1点に、が、翌4回に四球を出した後、HRで2点、更に5、6回にも1点ずつ失点し、万事休す。敗戦となった。今日を振り返ると、数字で比較すると、良くわかる。安打数は、G：7本、R：6本、ここは内が上回っている。しかし、失策相手1に対し7、与四球相手2に対し5、盗塁数相手7に対し0という内容。従って、失策・与四球が如何に安打に絡まり失点をしてしまったかが分かると思う。起きてしまった事が、チームとしてカバー出来なかったのが今日の敗戦。次節は、今日の内容にならぬ様、確実に出来るプレーは確実に実践し、勝利を目指そう！